

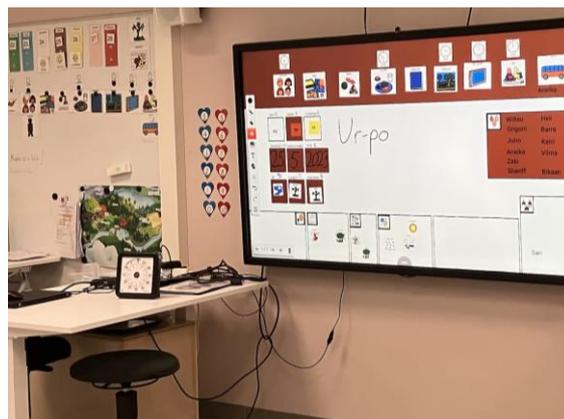
(個別研修) 中村 まい香

研修テーマ: 本人主体の支援システムの構築 ～子どもの成長、発達に応じた支援計画の立案、子どもと家族を支える他職種との情報共有手段の模索～

研修地: フィンランド ヘルシンキ市

研修日: 5月24～5月26日

特別支援学校 Solakallion koulu (ソラカッリオ)



この特別支援学校には、障がい度の重い自閉症の生徒が多く在籍していた。見学させていただいたクラスは小学校2年生と3年生の生徒が混在しているクラスとなっており、コミュニケーションの練習としてコミュニケーションボードの利用が徹底されていた。また、必要に応じて、ヘルシンキ市の福祉課や生徒が通院している病院と連携することとなっており、気軽にメールなどで連絡を取り合える環境を作るなど、チームで協働する手段について校長先生からお話を伺った。

ヘルシンキ障害者活動支援 Cäpsän toimipiste (カプサ)



16歳～60代の利用者が40人程度在籍している。利用者が日中過ごすプログラムが多数(音楽活動、ソーシャルメディア、料理、ラジオ制作、ゲームなど)あり、それぞれの目標に応じてプログラムを選択している。スタッフ同士で利用者について共有する時間を大切にしていると伺った。